

特別支援教育の担当者実践交流サークル 第2水曜日19:00~20:30 参加費は無料です。

会場はサポートハウス「わにの家」 第2ハウス（武蔵小杉駅下車 徒歩10分）です

○ 12月は14日です。

◇ 11月の報告 ◇

今回の内容は主に2点。

1. 運動会等学校行事の取り組みについて

新型コロナの影響で、3年間中止や縮小開催が続いていた運動会。今年度は以前通りに全学年一緒に開催された学校もあったそうです。支援級のお子さんにとってどの程度のボリュームが適切かという判断は難しく、教員間で運動会のねらいを十分に検討する必要がある事が話題になりました。

運動会に限らず、全校行事では特性や感覚面の凸凹、心因的な事などにより練習の段階から不安定になるお子さんがいます。一方で、そのような行事で生き生きした姿を発揮するお子さんもいます。また、保護者の方の期待が、予想以上に大きい事も現実です。

個々の子どもの特性が発揮できる内容が選択できたり、見通しが持てる適切な支援や集団の大きさを考え、更に保護者に目当てがどこなのかを説明したりなど、様々な面で検討し、教員の共通理解が必要だと感じました。

2. 中学校支援級で取り組んでいる美術授業

マスキングテープを細かくちぎって貼り付ける「ちぎり絵」～生徒が分担して作る合同作品なので圧巻です。学級の前に展示して好評を博しているようです。

キットパスを使って「クリスマス仕様の窓ガラスの飾り付け」なども。新しい教材開発は教員のアイデアが発揮されていて、明日からの活動に生かせそうな楽しい報告でした。

月刊「みんなのねがい」 12月号 (715円 送料79円)

特集＝行事の魅力

- ・学校における「行事」とは
／石田 誠・塩田奈津（京都・与謝の海支援学校）
- ・ロビンフッドたちの夢の舞台へようこそ
- ・人と人とのつながりのなかで “やってみたいな” と思えること
／皿谷知世（広島・草笛学園）
- ・青年のねがいや夢をつないで作品展＆コンサートへ
／船橋秀彦（茨城・シャンティつくば）

発達の中の煌（きら）めき

第1部 障害のある子ども・なかまの発達

第9回 「三次元の世界」を切り開く

－仲間とともに「だんだん大きくなる」

／白石正久（龍谷大名誉教授）白石恵理子（滋賀大）

仲間と親とあゆみ続けて

－32年間の障害者福祉実践

第9回 仲間の高齢化の課題に向き合う②

／佐藤さと子（ゆたか希望の家 相談支援事業所）

基礎から学ぶ 障害と医療

第3回 薬と生活の質 ③具体的な薬の話

／根来秀樹（信貴山病院 ハートランドしぎさん）

ニュースナビ

「障害者権利条約 初の対日審査」

／増田一世（日本障害者協議会常務理事）

発達保障インタビュー バトンゾーン 第21回

たくさんのお会い、つながり続けて

－東北・秋田の地で（上）

／鶴谷 春美（全障研秋田支部長）

※ 購読ご希望の方はわになろう会 伊藤まで

2022年度 第2回

<コロナ感染症の予防に十分配慮して実施します>

移動支援事業等従事者養成研修講座のお知らせ

※学校や施設への送迎、おでかけサポートなど、とてもやりがいのある障がい児者の地域での生活を支援する事業です。対象：高校生から。

ご希望の方ぜひご参加を！ サポーターが足りなくて支援のご希望に応えきれず、困っています。

お知り合いの方、ご近所の方などにもお勧めください。

実施日： 2023年1月21日(土) 13:10~16:40 受付13:00~

会場： 川崎市生涯学習プラザ 301会議室 〒211-0064 川崎市中原区今井南町28-41

JR南武線・東急東横線・目黒線「武蔵小杉駅」下車徒歩10分

※参加ご希望の方は、

「サポートハウスわにの家」までご連絡ください。

申込は1月12日（木）まで。 定員は30名

